



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 74 名 出席 53 名 出席率 71.62% 前回出席率 71.62% 修正出席 65 名 確定出席率 87.84%

四つのテスト

- ① 真実かどうか？
- ② 好意と友情を深めるか？
- ③ みんなに公平か？
- ④ みんなのためになるかどうか？

会 長 報 告

川村 徳男 君

1. 20日の本年度最後の教育 110 番には、県の教育 110 番から元鶴岡第 5 小の校長をされた加藤さんも視察に來られました。相談件数も 3 件あり、まずまずでした。ロータリアンのカウンセラー運営委員、事務局の方など入れ代り 13 名もの方々が都合をつけて出て頂きましてありがとうございました。
2. 6月30日までの行事（これまでですと、次の例会までの行事、と申し上げましたが、私の任期も今月末日で終了ですので）

(1) ロータリー関係

予定されるロータリー行事は、本日の IGF の反省会と 27 日の臨時の理事会ですが、何れも夜のお勤めですし、おいしい酒になるでしょう。

(2) 一般の行事

今日 25 日は救らいの日です。今でいうハンセン氏病のこのようですが、私のこどものころは、癩病というと皮膚がただれて毛が抜けたり肉が腐ったりする伝染病として恐れられたものでした。

28日は貿易記念日です。舶来品というと高級品の代名詞のように使われた時代もありましたが、今では舶来品という言葉すら聞かれなくなりました。

幹 事 報 告

秋野 忠 副幹事

- 例会時間・場所変更のお知らせ
 - ・立川 R.C. 6月27日 午後7時
庄内ドライブイン
登録料 4,000 円
 - ・八幡 R.C. 従来土曜日を7月より金曜日に変更致します。
7月5日(金) 午後6時
舞鶴荘 (八森自然公園内)
登録料 3,000 円
- 回覧→鶴岡西 R.C. 会報
国際ロータリー日本支局移転のお知らせ
生活創造福祉の開催ご案内について

委 員 会 報 告

- インターアクト委員会 佐々木 詰彦 君
国際ロータリー第 253 地区インターアクト顧問教師連絡協議会が 6 月 21 日行われましたので報告致します。顧問懇談会は 1 昨年行われ、私に関係してから今回 2 度目であります。幸い 2 度共出席させていただきました。色々問題はありましたが、会員が徐々に増えつつある報告がありました。また 60 年度インターアクト年次大会が勿来市で開催されます。ロータリアンの多数の出席をもとめられていますので、よろしくお願い申し上げます。

退 任 の ご 挨拶

会長 川 村 徳 男 君

「見つけよう奉仕の新生面」ではじまったカルロス の年度も早や終ろうとしております。私どもは、

この一年、奉仕の新生面をみつけ、これを行動に移して、鶴岡 R・C の歴史に新しい一頁を加えてまいり

庄内空港の建設を推進しましょう



ました。

毎年、12月の暮れになると今年の十大ニュースというものが出されます。私もこの1年のクラブの活動を十大ニュースという形で振り返ってみたいと思います。

ただ、私は、各委員会が知恵をしぼって一所懸命やって頂いたことを、これは

大事、これはあまり大事でない、などと決めつけることは出来ません。そしてまた、私自身欲ばかりですから、一年の活動をできるだけ多く拾って、時には大きく分け、ものによっては小分けにして、ともかく10にまとめてみたいと思います。しかし、若しもこの中に洩れたものがありましたら、私の迂闊によるものとご容赦いただきたいと思います。

また、ニュースの大小の順序はありませんが、今年度の当初に私は基本構想として、親睦と青少年の健全育成を二つの柱としたいきさつがありますのでこれから入ってみたいと思います。

第一のニュースは親睦活動ですが、

- (1) 黒川能鑑賞家族会は本場所での鑑賞ということもあって、41名という大勢の参加があり、
- (2) 春の家族会は松山町、土門記念館など初めての見学の方が多く、良い思い出になったようでした。
- (3) クリスマス家族会は、136名というかつてない多くの参加者を得ましたし、
- (4) たら汁例会は遠くから作田、中田の両P・Gご夫妻、斎藤Gをご招待し、恒例の会員持ち寄りによるオークションもあって、お客様たちは大へん印象深かったご様子で、作田P・Gは、あの世への良いおみやげ話ができたと感謝しておられました。
- (5) 鹿児島西R・Cとの盟約20周年は、ちょうど外国からのお客様の訪問とかとあった為に、こちらから訪問することができませんでしたが、お互いに名産の菓子を贈り、贈られて記念事業としました。

以上のように親睦については、家族ぐるみの親睦活動や、外部への友情の輪を広げたり、或いは友好の絆を強めるなど、特筆すべき奉仕活動が活発に行なわれ、大きな成果を収めたものと思います。

第二のニュースは、青少年の健全育成の奉仕活動ですが、

- (1) 教育110番は内部の意思統一、外部の協力があつたればこそできたものです。特に、商工会議所のご好意、鶴岡電報電話局のご援助、NHK、YTS、荘内日報など会員及びその他の中央各紙などマスコミのご協力、更には鶴岡市、特に市報担当部門、教育委員会当局、或は外部のカウンセラーの方々の献身的なご協力など、地域各層の幅広い支持を受けられたということ

は大へん有難いことでした。これも、一つには教育110番そのものが時宜に適したものであったこと。二つにはクラブの内部が一丸となって奉仕の熱意に燃えたお蔭であると思います。何しろロータリークラブとしては全国でも前例のない初めての活動ですし、あまりにも大きなプロジェクトであつたし、また、地域の期待も大きく注目的でしたので、果してうまくゆか全く不安でした。それが公式訪問に際して斎藤Gが「光り輝いている」と言われるほどの立派な事業として注目されたのであります。最近、県教委でも教育110番を初めたようですが、我が鶴岡R・Cが口火を切り、それが引き金になったであろうことは充分想像ができます。その意味で、行政でとりあげるに至ったということで我々の奉仕活動は半ば目的を達したといえます。県教委でとりあげた直後の荘内日報に、県のみ依存せず、市町村もとりあげるべきだという趣旨の社説が掲載してありましたが、我がクラブのこの活動を、いつ、どんな形で他に移管するかは今後の課題であると思います。

- (2) I・A・Cとの懇談は、残念ながら鶴工の方が都合で出席されませんで、十分な話し合いができませんでした。予想したような強化には至らず、力の不足を痛感します。
- (3) R・A・CはOB会が音頭をとってやって来て、建設的な示唆が得られたことは、今後の拡大強化に多大の参考になりました。
- (4) 鶴岡高専の栗田光一君の卒業に際し、在学中I・A・Cに貢献した功績をたたえて青年功績賞を授与しました。

第三のニュースは国際奉仕です。

海外との交流・交歓が多く行なわれ、特に国際親睦には当初は予想もなかった華々しい展開があったことは、大きな収穫でした。

- (1) 5月7日の例会に、姉妹クラブであるニューブランズウィックR・Cからハインライン博士ご夫妻が、マチドクラブであるストウエルR・Cからリンゼ氏が来訪され、スピーチをいただき改めて親交を深めました。
- (2) 交換学生の派遣については、前年度派遣の新穂恵さんが一年の留学を終えて人間的にも大きく成長して帰国し、次年度には伊藤久美さんのアメリカ留学が決定しました。
- (3) 受入れでは、同じく次年度に英領バミューダからジュリー・エリザベス嬢が決まりました。特筆すべきことは鶴岡南高校が大英断をもって初の受入れを決定していただいたことで、私ども大きな感激を覚えるとともに、将来の交換学生の受入れに明るく好ましい影響を持つものと期待されます。
- (4) 交換学生で行って来られた人達を囲む座談会が、初の試みで行なわれ、学生側5人が出席して、体験談があり、今後の派遣に多くの貴重な

教訓が得られました。

- (5) クリスマス家族会の席上、緊急動議があって慈善鍋ならぬ籠が廻されて、参加の皆さんからアフリカの飢餓を救う募金が行なわれ、その場でNHKに寄託しました。
- (6) 石黒P・Gの訪台を機会に、台中港区R・Cに親善のメッセージの伝達をお願いして友好を深めました。なお、盟約10周年の記念に訪問して慶祝の意を表わす計画を進めましたが、途中で挫折したことは大へん残念なことであり、先方に対してはまことに申し訳のないことでした。
- (7) その他としては、

- ① わがクラブが創立当初から活動し、また、市とも協力して交流を図ってきた積み重ねの結果として昨年8月、姉妹都市N・B市のリンチ市長一行の鶴岡市訪問があったこと、
 - ② 市の企画による青少年親善使節団のN・B市訪問に際して同市のロータリークラブにメッセージを依託し、使節団の一員の小池志保さんの帰朝報告が例会で行なわれたこと、
 - ③ 前年度、ヨーロッパ演奏旅行に出発した土曜会混声合唱団が多くの成果を収めてたくましく成長して帰ってきたこと、
 - ④ N・Bロータリークラブに会員から拠出して戴いたカレンダーを送ったこと、
- など、数々の奉仕活動が行なわれ、国際奉仕に大きな前進をした年でした。

第四のニュースは社会奉仕活動ですが、

- (1) 4月19日早朝の赤川土手の清掃奉仕は僅か3日前のクラブ協議会の懇親会にでわかに決まっていたのですが、それにも拘らずあれだけ大勢の参加をいただいたということは、我がクラブがいつ、いかなる緊急時にも対応できる意思の結集の土台ができていく証拠で、高く評価されるものと思います。
- (2) 歳末の助け合い事業は、地元、民間の奉仕活動に目を向けて援助をしたことは、従前と違った活動として挙げなければなりません。

第五のニュースは職業奉仕における本年度の特色ですが、

- (1) 毎月の最終例会に四つのテストを唱和し、
- (2) 会報委員会の協力もあって会報の冒頭に四つのテストを掲載したこと、

以上のように、会員の職業奉仕の心の糧として貢献したことも注目される活動でした。

第六のニュースは例会の設営、運営に変化をもたせた努力と功績は非常に大きいものがあります。それは、S・A・A、出席委、プログラム委、親睦活動委、その他関係委員会と会員の皆さんの協力の結合であったと思います。

- (1) バイキング料理は新しい試みとして好評でした。
- (2) 毎月第一例会には長期皆出席者の席を設け、花を飾って祝福しました。

- (3) スマイルの時間もユーモアに笑いをさそうひとときとして定着し、
- (4) 出席率については、委員会をはじめ皆さんの努力にも拘わらず目標には及びませんでした。創立記念例会の100%出席はヒットでした。
- (5) 点鐘前のB・G・Mに民謡や演歌のカラオケを流すなど、会場の空気を和やかにする工夫がこられました。
- (6) 我田引水になりますが、会長報告に一般の行事を入れてお話ししたところ、忘れかけていた季節の行事や地域の催しなどを思い出して良かったと多くの方からおほめの言葉をいただいたことは、嬉しいことでした。

第七のニュースは会報です。

「何でも放談」の項を設け、会員の職場を訪問してインタビューをしたり、イラストを載せるなどして、面白く読んでもらえる会報をめざして編集に苦心のあとが歴然として異色のものでした。しかし、残念ながら予算の関係もあって、会報委員会の前向きな意欲を充分満たすに至らなかったことは申し訳なく思います。

第八のニュースは会員増強です。

当初の目標5名には僅かに及びませんでしたが、この時期に実質3名の増員は成功だったと思います。ただ、残念なのは、会員の森田清治さんを病魔のために亡くなったことでもあります。また、元会員の白井重磨氏、板垣清治氏につきましても哀惜に堪えません。とともにご冥福をお祈り申し上げます。

第九のニュースは庄内分区のI・G・Fです。

これまでにない最高の参加者があって、会場の選定や設営に苦勞されましたが、実行面では色々の創意や新しい企画が繰り込まれて、立派にホスト役を果たしました。

第十のニュースは懸案事項の処理です。

- (1) 大切なクラブ資料の散逸を防ぎ、利用の便を図るため整理・保存の基準を定めました。
- (2) 外部拡大については、大方の会員の時期尚早という意見によって、当分見送ることに決定されましたが、国際ロータリーや地区の方針、それに地域の情勢などからみて、いずれ再考すべき時期も遠くはないのではないかと思います。
- (3) 創立以来の会員の氏名や入退会の時期などは年月の経過によってわからなくなるおそれがあるので、年度ごとの入退会者名簿を作成して、26周年記念例会に配布しました。

以上で10のニュースを申し上げましたが、もう一つ付け加えたいことがございます。しかし、これを加えると11になってしまい、十大ニュースとはいえませんので、十ダッシュということでお聞き頂きたいと思います。

それは、11月30日に鶴岡R・Cの会長として一日警察署長を委嘱されたことです。鶴岡警察署の幹部の朝礼に出て訓示し、日夜治安に努めている労苦に感謝申し上げるとともに、特に、次の時代を担う靑少

年の健全な育成のため、私どもロータリーも奉仕活動をしているが、非行の事前防止に一層の努力をしていただきたい、とお願いをしてみました。このことは、荘内日報で大きく取り上げていただき、鶴岡R・CのP・Rになりましたことを感謝申し上げます。

以上、一年間の活動をふり返ってみました。中には努力の甲斐もなく所期の成果があがらなかったものもあるものの、総体的には当初の構想・計画以上のものが実現され、豊かな年度、実りの多い年度でありました。

これは、鶴岡R・Cの26年という歴史の中で、先輩の方々が培ってきた豊かな土壌と、蒔かれた種子があって、たまたま私の年度にそれが芽をふき、花を咲かせ、実を結んだということだと思います。私はちょうど勝ちムードにのっている野球のピッチャー

のように、老巧な技と若い力を併せもつバックスを信頼し、助けられて、担々と投球してきた、そんな心境でございます。

私は、これまでの生涯で折にふれて「自分は運の良い男」と思ってまいりましたが、この一年のうちにも何人かの会員に「良いときに会長になった」と祝福されてきました。

この年度に会長にさせていただいたことは大へんな幸運でしたし、良い経験をさせていただきました。得難い財産をふやした、という気持で、満足感、充実感が、今ひしひしと胸にせまっております。

会員の皆さん、各委員長のみなさん、理事会のみなさん、幹事の迎田さん、事務局の山下さん、この一年間のご協力、ほんとうにありがとうございました。

幹 事 退 任 挨拶

迎 田 稔 君

最初に、歯科医師会の会議のために、最後の例会を欠席し、退任の挨拶を代読していただくことをお許し願います。この一年間皆様には何かとお世話になり有難う御座いました。

私は川村会長さんにお願ひし幹事役をやらせてもらったのですが、生来の呑気さと、仕事の忙しさにかまけて、会長さんにはさぞかし歯がゆい思いを度々なさったことでしょう。幹事の仕事の何割かを会長さん、そして事務局の山下さんにやっていただいで、何とか一年を過ごすことが出来て幸せだったと

感じています。

この一年の間に学んだ人と人とのつながりを大切に、これからのロータリー生活をより有意義なものにしていきたいと思います。

そしてプログラム委員長の佐藤陸男君には、毎回の例会作りについて大変お世話になりました。深く感謝すると共に、次の佐藤会長さん、秋野幹事さんに対しての絶大なる御協力をお願いして退任の挨拶とします。

有難うございました。

会長・幹事さんを犒うことば

嶺 岸 光 吉 君

今日の例会が本年度最終例会になるわけですが、会長さん、幹事さん、短かいようで長かった1年間ではなかろうかと考えられます。1年間ほんとうにご苦労様でした。

会長さんは歴代会長さんにみられなかったロータリーの行事報告は当然ながら、しかも1年間カレンダーの行事の報告と色々気をくぼられた会長さんではなかったかと考えております。また今年度ターゲ

ットー「見つけよう奉仕の新生面」—このターゲットに基づいて各委員会が充分奉仕活動をしてくれました。特に青少年委員会では教育110番を開設され、地域社会に大きく貢献されたものと思います。

ほんとうに1年間、会長さん、幹事さん、御苦労様でした。会員の皆さんと共に絶大な拍手で犒いたいと思います。

ス マ イ ル

塚原初男君 米国研修時のアドバイザー Dr Theodore T. KOZLOWSKI 教授を筑波万博へ案内できたので
三井 健君 二人目の孫が誕生しましたので

津田晋介君 先々週スピーチしましたが、原稿もありませんでしたが立派に出ておりましたので
川村徳男君 会長退任について
佐々木喆彦君 私が提言した教育110番たいへんおほめいただいたので (今週の担当者 斎藤 昭)